

『宮崎の木について』

新型コロナウイルス感染が続き、外出自粛により家にこもる事が多くなりました。そのような時、窓から外を眺めたり、外を散歩したりすることで、木や植物に心を癒された経験がある人が多いのではないのでしょうか。宮崎のイメージとしてなじみ深い樹木「フェニックス」は、宮崎県を代表する木の1つです。今回は宮崎県の「県の木」に制定されている3つの木について紹介します。



○フェニックス

アフリカのカナリー島が原産です。病害虫に強く、寿命が長いことからフェニックス（不死鳥）と名づけられたといわれています。大正のはじめころに、初めて宮崎市の天神山公園に植えられました。その後、「宮崎県観光の父」と呼ばれる宮崎交通の創業者、岩切章太郎氏が、1936年から日南海岸にフェニックスの植栽を始め、現在の南国イメージあふれる景観がつけられました。

（昭和 41 年制定）

○ヤマザクラ



山地に広く自生する野生の桜で、古くから人々に愛好されており、春に若葉と同時に白色または淡紅色の花が咲きます。平均寿命は 200～300 年と言われ、古くから和歌にも数多く詠まれている日本古来の桜です。宮崎県日向市出身の歌人、若山牧水の歌集「山桜の歌」でも詠まれています。

日本気象協会によると、今年の宮崎県の桜の開花は、3月下旬と予想されています。

（平成 15 年制定）

○オビスギ

飫肥地方（日南市中央にある地区）で約 400 年前から植林されてきました。日南市の観光名所「飫肥城」を訪れる際にまず目にする大手門は、樹齢 100 年以上の飫肥杉を使って 1978 年に復元されたものです。そして大手門をくぐり進んで行くと、石垣に囲まれた四隅に 4 本の杉が立つ場所があります。4 本の杉が合わさることから「しあわせ杉」と呼ばれるようになり、パワースポットとして知られています。



（平成 15 年制定）

皆さんの住んでいる周辺にはどんな木がありますか？緑と共に気分転換をして、宮崎の自然の中にある美しさを見つけてみてください。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財) 宮崎県国際交流協会

TEL : 0985-32-8457 FAX : 0985-32-8512 Email miyainfo@mif.or.jp

毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら：みやざき外国人サポートセンター

TEL : 0985-41-5901 FAX : 0985-41-5902 Email support@mif.or.jp